

令和 2 年 度

決 算 関 係 書 類



社会福祉法人 八晃会 宝光保育園

令和2年度決算関係書類目次

令和2年度 事業報告

令和2年度 決算書

監査報告書

令和3年6月4日 決算監事監査

令和3年6月10日 理事会提出

令和3年6月10日 理事会認定

社会福祉法人八晃会 令和2年度事業報告

令和2年度事業報告

目次

1、本部運営

2、施設運営管理

1、本部運営

(1) 法人の概要

ア 沿革

昭和13年宝光寺の施設を利用して農繁期における臨時託児施設を開設した。幼児の健全な発育を図りそして地域の農業生産を幼児保育面から支援するため、昭和29年8月13日宗教法人宝光寺の設立認可をうけ同年7月1日宝光寺保育園として定員60名の保育施設を開設した。その後の地域の発展に伴って保育需要の増加とより児童福祉の向上を願い、宗教法人立を廃して昭和47年10月9日新たに社会福祉法人八晃会の設立認可をうけ、昭和48年4月1日から宝光保育園として認可定員180名により発展的再出発をした。それより後急激な乳幼児の減少に伴い、昭和60年4月1日定員150名、ついで平成3年4月1日から110名と認可定員を削減して事業経営の適正化を図り運営をつづけてきたが、昨今の景気の低迷、男女平等参画による女性の就労希望者の増加や、日の出町の福祉充実を目指す政策等の社会情勢により保育所利用希望者が急増し、日の出町にも入所待機児童問題が顕在化しているため、平成22年度より定員を130名、平成23年度に151名に増員し現在にいたっている。

イ 現況（令和3年3月31日現在）

(ア) 法人

東京都西多摩郡日の出町大字平井3392番地

社会福祉法人 八晃会 代表者 理事長 前田高道

設立認可 昭和47年10月9日（厚生省収児第944号） 法人設立 昭和47年11月4日

(イ) 施設

東京都西多摩郡日の出町大字平井3389番地1

社会福祉法人 八晃会 宝光保育園 施設長 園長 荒井寿美代

施設認可 昭和48年7月19日（47民児保第1113号）設置適用 昭和48年4月1日

(2) 役員

役員定数 理事6名 監事2名

任期 令和元年6月27日より令和3年度定期評議員終結の時まで

役職	氏名	就任年月日	職務	職業	親族関係	摘要
理事	前田高道	令和元年6月27日	理事長	僧侶	八坂理事の伯父	
理事	八坂康彦	令和元年6月27日		元認可保育所施設長	前田理事の甥	
理事	小島哲雄	令和元年6月27日		認可保育園 園長		狭山保育園
理事	荒井寿美代	令和元年6月27日		宝光保育園 園長		
理事	田中彩乃	令和元年6月27日		宝光保育園 主任		
理事	岡村浩充	令和元年6月27日		宝光保育園 主任		
監事	伊藤一法	令和元年6月27日		認可保育園副園長		誠和保育園
監事	清水秀明	令和元年6月27日		日の出町商工会会長		

評議員 7名

任期 平成29年4月1日から6年以内終了する会計年度のうち最終のものに関する定期評議員会の終結の時まで

氏名	就任年月日	職業	親族関係	摘要
山崎幹治	平成29年6月26日	元郵便局長		
木住野佑治	平成29年6月26日	元市役所課長		
藤谷弘司	平成29年6月26日	会社代表取締役社長		
高野泰弘	平成29年6月26日	認可保育園 園長		
古山雄一	令和2年6月24日	福祉施設 施設長		

清水智勝	令和2年6月24日	僧侶		
秋山和代	令和2年6月24日	アトリエ経営代表		

(3) 役員の変更

社会福祉法によって令和元年6月に開催された定期評議委員会にて理事が上記の通り選定された。

(4) 役員会

年 月 日	会 議	内 容		結 果
4月2日	評議員選定委員会		評議員選定について	承認
6月5日	第1回理事会	第1号議案	令和元年度事業報告及び決算報告について	認定
		第2号議案	令和2年度定時評議員会の開催について	認定
6月24日	定時評議員会	第1号議案	令和元年度事業報告及び決算報告について	可決
		第2号議案	役員を選任について	可決
10月21日	第2回理事会	第3号議案	第一次資金収支補正予算について	可決
12月4日	第3回理事会	第4号議案	第二次資金収支補正予算について	可決
3月27日	第4回理事会	第5号議案	資金収支最終補正予算	可決
		第6号議案	令和3年度事業計画について	可決
		第7号議案	令和3年度資金収支予算について	可決

(5) 許認可・届け出及び登記事項・・・資産額の変更登記あり

(6) 施設(設備)整備・・・令和2年度本部拠点区分による施設設備整備事業はない

(7) 福利厚生・・・慶弔見舞金取扱規定による支出は5件(結婚祝い金0件 退職餞別金0件)

2、施設運営管理

令和2年3月31日現在における基本的な施設現況は別表第1のとおりである。

(1) 児童処遇

ア 入所児童数

(日の出町)

0歳児 標準時間 10名 短時間 1名

1,2歳児 標準時間 37名 短時間 8名

3歳児 標準時間 28名 短時間 2名

4,5歳児 標準時間 58名 短時間 3名

(あきる野市)

1,2歳児 標準時間 3名

4,5歳児 標準時間 3名

(昭島市)

1,2歳児 標準時間 9名

4,5歳児 標準時間 9名

(国分寺市)

1,2歳児 標準時間 1名

(月別人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	124
1歳児	20	20	21	21	21	21	21	22	23	23	23	23	259
2歳児	23	22	22	22	22	24	24	24	23	23	23	23	275
3歳児	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳児以上	62	63	63	63	63	63	63	63	62	62	62	62	751
合計	145	145	146	146	146	148	148	149	149	149	149	149	1769

イ 保育運営

本年度も法人理念「和」の実現に向け、宝光保育園誓願「幸せはぐくむ宝箱 笑顔・安心・元気」を行動の指針としながら、「豊かな自然の中で丈夫な体とやさしい心を育む」保育の実践を重ねた。また一時保育事業をはじめとする地域子育て推進事業もコロナ禍ではあったが出来る範囲内で実施した。

ウ 健康管理

登降園児の視診に重点を置き、嘱託医の適切な指示、指導を受け、また保護者との連携を図りながら常に児童の健康状態を観察把握して傷病の早期に努めたほか保育計画に基づく各種の健診等を実施して児童の保健に努めた。

エ 栄養管理

栄養管理については、保育者は勿論、保護者対象に給食試食会を開催して給食内容の向上を図る予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止から未実施となる。本年度も玄関出入口に献立ショーケースを設置して当日の献立一式を供覧して保護者の好評を得ている。献立作成については次のことに配慮している。

- (ア) 年齢に応じた栄養所要量、栄養給与基準にそった食品構成に努めた。
- (イ) 季節感を大事にし、なるべく旬の素材を使用する。
- (ウ) 素材の味を活かせるような献立の工夫。
- (エ) 献立は月2サイクルとした。
- (オ) おやつはできる限り毎日手作りとした。
- (カ) 献立のレパートリーを増やしたことにより1日に摂取できる食材の種類を増やした。
- (キ) 季節の行事食を通じて、子どもたちに目で見、舌で感じ、何より食べることを楽しんでもらえるような献立に努めた。また3つの柱と8つの力を育てることを食育の基本としている。バイキングについては、保育者からのアイデアを中心に献立し実施した。なお衛生管理面については所轄保健所の適切な指導をいただきながら徹底した万全の予防措置をとってきた。その他十分な食品管理や検食の取り扱い、そして設備器具の洗浄、消毒及び保管上の清潔保持、また従事者の健診、手洗い、手指の消毒等の励行に努めた。衛生管理面についての学習も着実に実施した。

オ 安全管理

常に安全に留意し、小さいことでも気の付いた点は職員相互に適時提起して安全策についての協議をして実行に移した。既存のマニュアルを見直しながら職員相互の報告や連絡についての連携を強化した。事故を未然に防止するため自主点検日を設け、ヒヤリハット報告の様式を整備運用するほか、園舎内外の設備や危険箇所及び遊具類の点検、火気類取り扱いの確認等常に正常な整備状態の維持に努めた。火災、地震等の災害時における児童の安全確保のため、五日市警察署及び自治消防団の担当者を招へいして避難訓練や火災、交通についての安全予防について適切な指導を受ける予定ではあったが、コロナ感染防止の観点から自治消防団の方々の来園はなく、交通安全について五日市警察署員の方に指導をうけ安全に努めた。特に園外活動での交通ルールを含むルートの確認を行った。

(2) 職員処遇

ア 月別職員配置

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤職員	園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	保育士	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24
	看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	調理員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	保育補助	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	小計	33	33	33	33	33	33	33	33	32	32	32
非常勤職員	嘱託医	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	保育士	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	保育補助	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	小計	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6
合計	39	39	39	39	39	39	39	39	38	38	38	37

イ 労務

(ア) 1年単位の変形労働時間制

(イ) 時間外労働に関する労使協定の締結

- ・対象期間 令和2年度4月1日から令和3年3月31日まで
- ・時間外労働をする理由 夏季における保育行事と業務の季節的繁忙
- ・時間外労働の内容 時間外保育と職員会議
- ・時間外労働の時間 1日について3時間以内 1月について10時間以内 1年について20時間以内

(ウ) 育児介護休業に関する労使協定の締結

労使協定締結日 平成21年3月6日

育児休業の申し出該当職員 なし

介護休業の申し出該当職員 なし

(エ) 年次有給休暇取得状況

令和2年度

- ・1名平均取得可能日数・平均取得日数・取得率

総取得可能日 1251日 ÷ 人員 37名 = 33.81

総取得日 272日 ÷ 人員 37名 = 7.35日

平均取得率 21.73%

(オ) 職員の異動

理由	職名	氏名	発令日・雇用期間等
採用	保育士	小澤のぞみ	4月1日採用
退職	保育士	菊池佳奈	11月30日依願退職
退職	非常勤保育士	市川紗弓	2月28日依願退職

エ 給与

人件費率は保育事業収入に対しおよそ80%。国基準による処遇改善手当・サービス推進費キャリアアップ補助金・人事院勧告による国家公務員の給与改定に伴う、委託費における人件費分の増額相当分の給与改定などに対応したため、十分な処遇改善措置を講じることができた。賞与は4.6か月支給することができた。非常勤職員に対しても昨年と同様に支給を行った。

オ 職員会議

本部、施設の運営状況のほか、保育、給食業務その他施設全般に関する協議、研修講習における受講内容の発表討議等について全体会議として開催したほか、特定事項に関し必要に応じ各クラスの担当者または代表者による会議を開催した。職員の自主的研修を兼ねて乳児会、幼児会を開催した。

カ 健康管理

政府管掌健康保険による生活習慣病予防健診や成人病健診を実施したほか、インフルエンザの予防接種を全額園負担で実施した。新型コロナウイルス感染症のため4月、5月に緊急事態宣言が発令され、職員の自宅勤務などの対応もとった。

キ 研修

職員研修は救命技能検定講習などの業務上必要であると認められるもの以外にも、自主的に参加を希望する職員には業務に支障のない限り職務免除扱いの措置をとり積極的に参加の機会を与えたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の点から今年度はオンライン研修も多くなった。コロナ禍でありながらも利点として数名で同じ研修を同時受講できた。年間を通じて保育について、各クラス、部署の担当制とし、グループワーク形式で園内研修を行った。昨年度から研修してきた環境、行事などを掘り下げた継続型の研修となった。新型コロナウイルス感染症の状況もあり行事など見直していく時期とも重なり結果的には有意義な内容となった。

別表 第2

ク 福利厚生

継続で東京都社会福祉協議会従事者共済会に加入したほか、今年度も福利厚生センターの行うソウェルクラブ（福祉施設互助会）への入会に加え任意の上乗せ労災保険にも加入し会費費用を法人で負担している。

（3） 保護者対策

保護者との連携を強めるために携帯を利用したキッズリー連絡帳の使用、園だより及び献立表の配布、そして登降園時に保護者と接触する機会をより多くもつことなどを日常的に行っている。今年度は、懇談会や保育参観がコロナ禍で中止となり個人面談を主体として面談利用の積極的なはたらきかけを行った。諸行事も保育者と家庭との一体性を強化できる絶好の機会であるということを各保育者が認識し安全を確保しつつ開催した。昨年度に引き続き苦情解決制度を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、緊急事態宣言発令などにより保護者の協力を頂く機会が増えた年度でもあった。

（4） 地域交流活動

地域社会との交流協調関係は地域に根ざした信頼される保育施設として円滑な園の運営に不可欠である。年間の保育行事を通じて行う交流事業はすでに戦前の託児所時代から地域ぐるみの年中行事として人々の生活の中に生き続けている。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大規模な交流を伴う行事は未実施であったが、個別対象の活動は密を避けて実施した。大人数ではなく数名の交流事業の方が参加しやすい方もいらしてニーズを知る良い機会となった。

ア 地域子育て支援事業関連

別表 第3

イ 保育所地域活動事業補助金関連

別表 第4

（5） 施設（設備）管理

ア 少破修繕を必要に応じて適宜行って維持管理に努めた

イ 保護者との連絡ツールとして「キッズリー（登降園連絡アプリ）」を本格導入した。

ウ 経営会計サポートとして「幼保経営サービス」と共に経理運営業務の向上に努めた。

エ 保守点検整備

非常通報装置保守点検、消防設備保守点検、給食用リフト保守点検、変電設備保守点検、コンピューターソフト保守点検、ピアノ調律、グリストラップ保守点検、防犯カメラ保守点検、RO水精製機、緊急地震速報保守点検、オゾン殺菌灯保守点検、消臭設備保守点検を行った。

（6） 災害対策

火災または地震等の災害の発生に対処するため、平素の訓練はもとより児童を災害から保護するため消防法及

び児童福祉施設最低基準を遵守して消防用設備を確保し、管理の適正を図り不測の事態に対処できる体制をとった。また係活動を通じて、リスクやマニュアルに対する職員の資質向上と仕組みの構築に取り組んだ。またBCP計画の職員への周知と、備品の点検見直し、整備なども行なった。近隣の宝光寺との連携も多くなり、安全に努めた。

別表 第1

宝光保育園施設内容調書（台帳）

（令和3年3月31日現在）

法人名	社会福祉法人八晃会	法人 設立日	昭和47年 11月4日	設置 認可日	昭和48年 7月19日		
施設 所在地	東京都西多摩郡日の出町 平井3389番地1	法人 許可日	昭和47年 10月9日	設置 適用日	昭和48年 4月1日		
電話	042(597)0876	法人許 可書 番号	厚生省収 児第 944号	施設許 可書 番号	47民児保 第1113号		
代表者名	前田高道	認可 定員 内訳	0歳児	9名	認可 定員 職 員 数	園長	1名
受理日	平成8年10月9日		1歳児	24名		保育士	11名
適用日	平成8年10月9日		2歳児	26名		調理員	2名
施設長名	荒井寿美代		3歳児	30名		用務員	名
許可日	(62福児第1557号) 昭和63年4月19日		4歳児	62名		嘱託医	1名
			5歳児				
適用日	昭和63年4月1日		計	151名		計	15名

敷地面積 2923.19 m ²		建築面積（鉄筋コンクリート2階造）延 1315.02 m ²			
		1階面積 720.30 m ²		2階面積 594.72 m ²	
	室名	(室)	(m ²)	(室)	(m ²)
最低 基 準	乳児室・ほふく室			2	129.30
	保育室・遊戯室	3	199.35	2	205.91
	調理室	1	51.02		
	医務室	1	6.00		
	便所	2	22.64	1	18.80
そ の 他	調乳室			1	5.04
	沐浴室			1	8.40
	事務室	1	18.45		
	保育士室				
	廊下その他		392.99		215.03
	子育て支援室				12.24
	一時保育室	1	29.85		
	計		720.30		594.72
屋外遊技場		1025.46 m ²			

別表 第2

職員研修参加状況

●外部研修

氏名	研修内容	主催	研修日
佐藤卓也	キャリアアップ 保健・衛生	ひの社会教育センター	7/27~28
原島愛美	「子どもの遊びの重要性」(オンライン)	東社協 公立委員会	9/23~10/5
平藪智恵子	危険生物対策アドバイザー	プラムネット株式会社 アウトドア教育事業部	9/26~27
荒井寿美代	マネジメント研修	全社協	10/12
私市遥奈	子どもの便秘について(zoom)	NPO 日本トイレ研究所	10/13
上條照子	子どもの便秘について(zoom)	NPO 日本トイレ研究所	10/13
宇野美鈴	子どもの便秘について(zoom)	NPO 日本トイレ研究所	10/13
佐藤かおり	子どもの便秘について(zoom)	NPO 日本トイレ研究所	10/13
浅見聡子	子どもの便秘について(zoom)	NPO 日本トイレ研究所	10/13
米田明子	子どもの便秘について(zoom)	NPO 日本トイレ研究所	10/13
森優子	子どもの便秘について(zoom)	NPO 日本トイレ研究所	10/13
井上千恵美	障害児について	西保連	10/16
最上亜栗	キャリアアップ アレルギー	ちゅーりっぷの心	10/21, 27, 28
原島愛美	キャリアパス対応生涯研修 中堅職員研修	東京都福祉人材研修	10/21~22
藤敦大輔	キャリアアップ 保健・衛生	ひの社会教育センター	10/29~30
田中彩乃	社会福祉施設職員研修	恩賜財団母子愛育会愛育病院	10/29~30
上條照子	自然について	西保連	11/12
米田明子	子どもの便秘と災害時のトイレ (zoom)	NPO 日本トイレ研究所	11/17
田中彩乃	子どもの便秘と災害時のトイレ (zoom)	NPO 日本トイレ研究所	11/17
森優子	子どもの便秘と災害時のトイレ (zoom)	NPO 日本トイレ研究所	11/17
佐藤卓也	子どもの便秘と災害時のトイレ (zoom)	NPO 日本トイレ研究所	11/17
佐藤かおり	子どもの便秘と災害時のトイレ (zoom)	NPO 日本トイレ研究所	11/17
私市遥奈	子どもの便秘と災害時のトイレ (zoom)	NPO 日本トイレ研究所	11/17
小澤のぞみ	アウトドア体験	西保連	11/19
大城耕平	キャリアパス対応生涯研修 初心者研修	東京都福祉人材研修	12/1~2
最上亜栗	栄養管理講習	西多摩保健所	12/7
最上亜栗	第3回給食担当者講習会	東社協	12/16
岡村浩充	人事担当セミナー	東京都福祉人材センター	12/21
岡村浩充	メンタルヘルス	東社協 青年委員会	1/27
横田浩嗣	メンタルヘルス	東社協 青年委員会	1/28
最上亜栗	給食担当者講習会	東社協	1/29
田中彩乃	児童虐待防止研修 オンライン	鶴風会 上代継診療所	2/3
荒井寿美代	児童虐待防止研修 オンライン	鶴風会 上代継診療所	2/3
岡村浩充	児童虐待防止研修 オンライン	鶴風会 上代継診療所	2/3
市川美穂	児童虐待防止研修 オンライン	鶴風会 上代継診療所	2/3

米田明子	児童虐待防止研修 オンライン	鶴風会 上代継診療所	2/3
最上亜栗	災害栄養研修 オンライン		2/7
最上亜栗	特定給食施設栄養管理講習会	西多摩保健所	2/9
田中めぐみ	人の脳と心の発達を科学的にとらえる	東社協	2/10
横田浩嗣	今こそ大切にしたいこと zoom	認定こども園協会	2/15
岡村浩充	今こそ大切にしたいこと zoom	認定こども園協会	2/15
宇野美鈴	気になる子どもの発達支援 オンライン	東社協	2/17
米田明子	気になる子どもの発達支援 オンライン	東社協	2/17
大城耕平	手品研修 オンライン	西保連	2/24
原島愛美	キャリアアップ 乳児研修 オンライン	保育プラザ	3/10、13、17、23

●園内研修

- 4月 「効果的なコミュニケーションを学ぶ」 ― 面談 ロールプレイング演習 ― 担当 田中
- 5月 保育環境を考える 0歳児クラスを実践して 担当 ゆり
- 6月/7月 保育環境を考える 4歳児クラスを実践して 担当 れんげ
- 8月 基本的な生活習慣について 担当 ちゅうりっふ/たんぼぼ/看護師
- 9月 保育環境を考える 2歳児クラスを実践して 担当 ちゅうりっふ
- 10月 主活動の充実について 担当 れんげ/すみれ
- 11月 保育環境を考える 3歳児クラスを実践して 担当 たんぼぼ
- 12月 普通救命救急研修 秋川消防署
食事・食育について 担当 給食
- 1月 1歳児クラスの保育を考える 担当 ひまわり
- 2月 行事について考える/主体性と集団 担当 すみれ 横田
- 3月 子どもの人権について 担当 荒井

別表 第3

地域公益活動および地域子育て支援事業

1、誕生会

誕生会を地域の子育て世帯に開放して、一緒にひとつ大きくなったことを喜んだ。

新型コロナウイルス緊急事態宣言発令の為一部変更または中止

4月中止	5月中止	6月中止	7月中止	8月中止	9月3日(木)
10月8日(木)	11月10日(火)	12月3日(木)	1月14日(木)	2月4日(木)	3月2日(水)

2、あかちゃんプール

新型コロナウイルス緊急事態宣言発令のため中止

3、園庭開放・各種お楽しみ会

園の行事を地域子育て世帯に開放して楽しんだ。

新型コロナウイルス緊急事態宣言発令の為一部変更または中止

毎週火曜日・木曜日 午前10:00~11:30	園庭開放 (4月~8月まで休止 9月から再開)
6月26日(金) 19:00~20:00	親子映画会(中止)
7月初旬	七夕親子短冊作り(個別の自由参加)
7月18日(土) 16:30~19:45	夕涼み会(中止)
11月2日(月) 午前10:30~11:30まで	どうぶつ村

4、げんきっこ(親子運動あそび)

親子でスキンシップをはかりながら体操やリズムあそびを楽しんだ。対象は地域子育て世帯および、在園世帯

日程:年間4回 土曜日 時間10:00から1時間程度

新型コロナウイルス緊急事態宣言発令の為一部変更または中止

5月23日(土) 中止	9月5日(土) 運動あそび	11月14日(土) 運動あそび	1月23日(土) 中止	2月20日(土) オンラインでげんきっこ
----------------	------------------	--------------------	----------------	-------------------------

5、親子でミニミニハイキング

園児が日頃歩いている里山ハイキングを親子で楽しむ。対象は地域子育て世帯および、在園世帯。

12月5日(土) 午前9:45~正午 雨天の為、密にならないスペース確保が困難なため中止

6、手作り教室

人気のハーバリウム作りを楽しむ。対象:保護者

11月16日(月) 16:00~17:30	11月18日(水) 16:30~18:00	11月20日(金) 17:00~18:30
ハーバリウム作り	ハーバリウム作り	ハーバリウム作り

7、おんぷりん(ちびっこ音楽あそび)

音楽あそびを通じて親子でスキンシップを楽しんだ。対象:地域子育て世帯および、在園世帯。

新型コロナウイルス緊急事態宣言発令の為、一部変更または中止

時間 10:00~11:00 頃

6月13日(土)中止	10月24日(土)	1月30日(土)中止	2月27日(土)中止
------------	-----------	------------	------------

8、ゆっくり話そう

子育ての悩みや関心ごとについてゆっくり話しながら保護者同士の親交を深めた。対象は地域子育て世帯および、在園世帯の保護者。

日程：時間：午前9:45~11:45

10月21日(水)	10月28日(水)	11月4日(水)	11月11日(水)	11月18日(水)	11月25日(水)
-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------

9、インファントマッサージ教室

親から子へぬくもりを我が子に伝え、親子の絆を深められるよう、インファントマッサージの手法を教えた。新型コロナウイルス緊急事態宣言発令の為、一部変更または中止

対象：満10か月未満の乳児の親子

第71期	4月15日 中止	4月22日 中止	4月30日 中止	5月7日 中止	第74期	9月2日 中止	9月9日 中止	9月16日 中止	9月23日 中止
第72期	5月27日 中止	6月3日 中止	6月10日 中止	6月16日 中止	第75期	10月30日	11月5日	11月13日	11月20日
第73期	7月3日	7月10日	7月17日	7月24日	第76期	2月5日	2月12日	2月19日	2月26日

出張インファントマッサージ教室 コロナの為中止

別表 第4

地域交流事業

事業名	事業内容	金額	計	
世代間 交流事業	節分豆まき会	宝光寺に出向き地域の方々と節分行事を行う	9,654	9,654
異年齢児 交流事業	青空大道芸	大道芸人を招いて地域幼児にも開放し交流を図る	100,000	287,000
	移動動物園	移動動物園による小動物とのふれあい。 地域乳幼児にも開放し交流を図る。	187,000	
育児講座・育 児と仕事 両立支援	みんなのお月見コンサート	親子で音楽に触れる機会をもつ	101,890	109,877
	ゆっくりはなそう	子育てについて話し合う	8,132	
	インファントマッサージ教室	親子の触れあい、子育てについて学ぶ	6,177	
合計				406,531

別表 第5

中長期計画 令和2年度終了時進行点検表

重点課題	令和2年度終了時の姿	達成度	活動内容
1、保育観の確立	・2018年に明らかにした保育方針の理解を深めるために保育環境改善と保育方針に基づく保育実践を行う。	○	・保育環境について継続してきた内容を、クラス担任が担当で年齢に合った保育環境を掘り下げてワークを行いまとめていった。 次年度へ内容を展開させ継続していく。
2、人材育成制度の充実	・チャレンジシートを基に年2回の園長面談を実施。	△	・人事考課表は未運用であったが2回目の園長面談時には、その年の振り返りも含め、自身で成果の出たところや自身の目標に達していないところなどを含めて面談を行った。 ・チャレンジシートの管理者のチェックが滞ってしまった。
3、時間外労働の撲滅	・保育事務だけでなく、保育の中で非効率と感じられている作業・内容を精査し、また新型コロナウイルスによる緊急事態宣言、密を避けることなどにより、行事の見直しを行なった。 ・休憩時間の促進に努めた。	○	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から諸行事を見直すことにより、行事の準備時間を結果的に削減することができた。 ・給食時に職員は園児を新型コロナウイルスから守る観点から別室で食事をする事になり休憩時間がプラスになった。 ・令和2年度は有給休暇も計画的に取得できたがさらに取得が向上するように計画している。
4、利用者意向の把握	・第三者評価の未実施 ・声を集める係：送迎時の保護者からの会話等からクラス担任が声を集める係に伝達。玄関内ボードに掲示し保護者に知らせる。	△	・令和元年度の第三者評価がコロナの影響で変更続きになり、受審が未実施になった。 ・朝夕の送迎時に利用者意向の内容は多く存在する。職員が話を受けたときに園全体の共有事項であることを察知し速やかに次へつなげるようを行う。 ・身近な“食”についての意見などから意向を把握できるように献立問い合わせなども対応した。
5、居場所作り	・ハートワークフェア他、町内ネットワークへの参加。 ・JVCA(日本ボランティアコーディネーター協会)、認定こども園協会、等保育団体、社会福祉法人関係の団体以外の団体協議会への参加 ・勉強会の未実施	△	・各種委員会や協議会などにオンライン参加を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から緊急事態宣言などが発令され会議などの開催が中止になった。
6、安全性の向上	・避難訓練の見直し(火災・災害・不審者対策) ・マニュアルの見直し ・ヒヤリハット事例の活用	○	・避難訓練後に職員間で意見を出し合い次につなげることができた。 ・マニュアル見直しは手分けをして行った。 ・ヒヤリハット事例は乳幼児会で話し合いを行った